

**オビランジについて** (山崎 敬) Takasi YAMAZAKI: On *Melandryum Keiskei* (Miquel) Ohwi.

ビランジ類は本州中部・北海道中部に分布するが変化に富み、Maximowicz 氏の頃より色々な形が報告されている。武田久吉博士はこれらを整理して、ビランジ、オオビランジ、ツルビランジの3つの形を変種として認め、ビランジの白花品としてシロバナビランジを報告している。宮部・館脇博士は北海道からカムイビランジを新種として報告した。北海道のものは資料不足でよくわからないが、本州のものは大体3つの形が認められ、地域的にも異つている。1つはオオビランジで丈が高く20~60cmあり、花梗や萼が殆んど無毛である点で他から容易に区別される。八ッ岳、秩父、駒・鳳凰山塊、伊那豊口山のクリ帯上部からブナ帯にあたる800~1300mの地域の岩壁に懸垂している。稀にシラビソ帯にあたる1800mの所にもみられる。オオビランジと花や葉の形は殆んど同じであるが、莖が著しく伸び1m以上にもなるものが妙義山にありツルビランジと呼ばれる。他の2つの形は従来ビランジと呼ばれていたもので、花梗や萼に腺毛が密生している点オオビランジと異なる。然し形態的にも、分布の点からも明らかに2つの形がある。1つは大井川上流、丹沢山塊、日光山塊に分布し1000~1300mのクリ帯上部といった場所の岩壁に懸垂している。腺毛をもつ以外はオオビランジに似て莖は長く20~50cmになり、葉の先は細長く尾状に尖る。莖の先の方は花序となり小さな苞をもつた3~4個の花をつけ、花は紅紫色で小さく2cm内外である。いま1つは赤石山脈の高所2600~3100mのハイマツ帯にそつて広く分布し、岩場の岩の間や叢の中にはえている。ビランジに較べると莖は直立して丈が小さく10~20cm、せいぜい大きくて25cmである、葉の先は尖るが尾状に細長くならず、ずんぐりしている。普通莖の先に小苞をもたない1つの花をつけるだけで、稀に頂は花の腋に小苞をもつた一花をつける。萼裂片はオオビランジ、ビランジが広三角形であるのに対し狭三角形で細長い。最も目立つ特徴は花が大きい点で直径3~4cmある。莖が短くて花が大きいのでビランジ類の中で最も美しい。以上のように赤石山脈のものは明らかに区別できるのでタカネビランジと名づける。これはオオビランジと同じ山にはえているが生育地域は明瞭に異なつている、形態的にも別種の感があるがビランジを仲介として連絡する。タカネビランジのうち甲斐駒岳、鳳凰山にあるものは花がビランジ、オオビランジと同じように紅紫色である。ところが仙丈岳、北岳から聖岳にわたつてみられるものは純白色で、ときに桃色のかげを持つものがあるが紅紫色のものはみられない。武田博士は鳳凰山からシロバナビランジ (*Silene Keiskei* forma *minor lusus albescens*) を書いているが、私のみた所では鳳凰山には赤石山塊のもののような白花はみつからなかつた。駒・鳳凰山塊と白峯・赤石山塊とで花の色が異つているようである、後者をシロバナタカネビランジと名づける。武田博士は信濃前岳から *Silene Keiskei* forma *minor lusus leucantha* なる白色の大きな花びらをもつたものを報告している。前岳とは仙丈岳であつて、シロバナタカネビラン

ジにあたると思われる。タカネビランジは全形、葉の形、花序の形など花の大きを除いてカムイビランジ (*Melandryum hidakaalpinum* Miyabe et Takewaki) と非常によく似ている。又北海道の栽培品から書かれた *Silene Maximowicziana* Rohrb. (*Silene Maximowicziana* lusus *nana* Maxim. ex Williams) も、記載から判断するとカムイビランジに近いもので、これらの関係は今後確かめねばならない。

**Melandryum keiskei** (Miquel) Ohwi in Journ. Jap. Bot. **12**: 659 (1936).

var. **keiskei**.—*Melandryum keiskei* var. *majus* (Takeda) Takeda, Alp. Pl. Japan, pl. 15 (1938).

オオビランジ. 採集地. 信濃: 下伊那郡大鹿村豊口山; 上伊那郡赤穂町大田切川; 美和村戸台川. 甲斐: 南巨摩郡西山村西山 700 m; 中巨摩郡芦安村夜叉神峠; 鳳凰山ドンドコ沢 1200 m; 同 1800 m; 同赤薮沢 1000~1200; 駒岳 900 m; 北巨摩郡八岳: 上野: 多野郡上野村浜平 700 m.

forma **procumbens** (Takeda) Yamazaki stat. nov.—*Silene keiskei* Miquel var. *procumbens* Takeda in Not. Bot. Gard. Edinb. **39**: 236 (1915). *Melandryum keiskei* var. *procumbens* Takeda, Kozan-syokubutu-zui, ed 2: 79 (1937).

ツルビランジ. 採集地. 上野: 妙義山.

var. **minus** Takeda, l. c. (1938) pro parte.

ビランジ. 採集地. 駿河: 安倍郡井川村中ノ宿 1000 m. 相模: 丹沢山 1000~1300 m. 下野: 日光馬返 800 m; 同華厳 1300 m; 塩谷郡栗山.

var. **akaisialpinum** Yamazaki var. nov.

Folia latiola oblanceolata-oblonga. Flores terminales solitariae interdium 2-floro dispositi vulgo ebracteolati, pedicellis calycique dense puberulis. Corolla rosea 3-4 cm. in diametro.

Hab. Prov. Kai, in regione alpina Hoozan 2600~2800 m. alt.—Typus in Herb. Univ. Tokyo.

タカネビランジ. 採集地. 甲斐: 鳳凰山 2600~2800 m; 駒岳, 鋤山; 釜無川横岳.

forma **leucanthum** (Takeda) Yamazaki stat. nov.—*Silene keiskei* Miquel forma *minor* Takeda lusus *leucantha* Takeda in Not. Bot. Gard. Edinb. **39**: 236 (1915).

シロバナタカネビランジ. 採集地. 赤石山脈 2200~3100 m. (仙丈岳・北岳・北荒川岳・塩見岳・小日影山・板谷岳・荒川岳・千枚岳・赤石岳・中盛丸山・兎岳・聖岳).

○白花二題 (水島正美) Masami MIZUSHIMA: On two white-flowered forms.

黒川喬雄氏から送られた標本中にクサヤツデの白花品があつた。それは奈良県宇陀郡